

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 消化器癌手術における術後感染症が癌予後に与える影響の多施設共同調査』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 外科 職位・氏名 教授・渡邊 学

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院外科では、消化器癌(食道癌・胃癌・大腸癌・膵臓癌・胆道癌)術後感染症の発症が癌再発と予後に与える影響を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、今後の消化器癌治療の発展につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、日本外科感染症学会(研究代表施設:日本医科大学多摩永山病院)が主導する多施設(18施設予定)での共同調査で、当院では(東邦大学医療センター大橋病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2013年4月～2015年3月までに東邦大学医療センター大橋病院外科において、消化器癌(食道癌・胃癌・大腸癌・膵臓癌・胆道癌)の手術を受けた方。190人の患者様を予定しています。この研究全体では、約3,200人の患者様を予定しています。

方法:診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

個人を特定する氏名・ID・生年月日等は削除し、病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況などの診療情報のみを用います。

【外部への試料・情報の提供】

カルテから収集した上記の診療情報のみを研究代表施設(日本医科大学多摩永山病院)へ提供し、あなたの個人情報が分からないように管理します。

【研究組織】

代表施設名:日本医科大学多摩永山病院 消化器外科

研究代表医師:丸山 弘 役職:准教授, 日本外科感染症学会臨床研究支援委員会委員長

共同研究機関:代表施設, 当院含め18施設

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 外科

職位・氏名 教授・渡邊 学

電話 03-3468-1251 内線 7173